

夏号

第157号

財団法人 山梨県交通安全協会

財団法人 山梨県交通安全協会各支部

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-280-5550
〒400-0202 南アルプス市下高砂847
(ホームページ <http://www.yin.or.jp/user/ankyou/>)

- | | | | | |
|----------|-----------|-------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 南アルプス交通安全協会 | 韭崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会 |
| 鰍沢交通安全協会 | 南部交通安全協会 | 市川交通安全協会 | 笛吹交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会 | 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

自動車安全運転センター山梨県事務所
社団法人・山梨県バス協会
山梨県二輪車安全普及協会

社団法人・山梨県トラック協会
社団法人・山梨県自動車整備振興会
山梨県自転車軽自動車商協同組合

山梨県タクシー協会
山梨県軽自動車協会
社団法人・山梨県建設業協会



夏休み みんなで守る命

夏の交通事故防止県民運動

7月21日から8月20日



事故防止を呼びかける塩山交通安全協会役員ら

＝甲州市塩山署前

交通安全カレンダー

- 7月21～8月20日 夏の交通事故防止県民運動
- 9月 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全安全弁論大会
- 12月 年末の交通事故防止県民運動
- 平成19年
- 2月 交通安全推進県民大会
- 4月 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全子供自転車山梨県大会
- 二輪車安全運転山梨県大会

夏の交通事故防止県民運動が七月二十一日から八月二十日までの三十一日間実施されます。

この時期は児童や生徒の夏休みと夏の行楽シーズンが重なり、毎年交通事故の多発が予想されます。道に慣れの県外ドライバーも多くなり、県外車と県内車の事故や暴走族の活動の活発化が懸念されます。悪質な交通事故に結びつく飲酒運転をなくし、思いやりの社会を築くようにしましょう。

「運転は 人に社会に 思いやり」をスローガンに重点目標の①高齢者と子どもの交通事故防止②飲酒運転等悪質・危険な運転の追放③シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底④運転中の携帯電話等使用等禁止の徹底を守り県民一人ひとりが交通事故防止の意識を高めましょう。

山梨県交通安全協会では関係機関と連携して交通安全の大切さを呼びかけます。

内容紹介

- | | | | |
|----|----------------------------|--------|--------------|
| 2面 | 理事・評議員会と平成17年度事業報告・関東安協表彰式 | 4、5、6面 | 各地区安協の活動 |
| 3面 | 子供自転車・二輪車安全運転県大会 | 7面 | 交通事故発生現場の調査 |
| | | 8面 | 協賛4団体の交通安全活動 |

交差点

昨年、山梨県内において飲酒運転で検挙された人は二千二百三十一人、その内逮捕された人は百三十四人。飲酒運転に伴う交通事故百五十件・この事故による死者十人となりました。(山梨県警察交通部調べ)

飲酒運転は犯罪で非常に危険な運転であると報道機関も毎日のように追放キャンペーンで取り上げております。また、道路交通法の改正により、酒気帯び運転の基準値も引き下げられ、誰もが飲酒運転はいけないことだと十分承知しているはずですが、相変わらず一般県民はもとより、特に襟を正し模範となるべき公務員までが飲酒運転で新聞紙上等を賑わせている現状にあります。

缶ビール一本(三百五十ミリ・アルコール度数五・五%)を飲んだ三十分後でも動体視力等は半分以下に低下するなど、多くの研究などで視機能や注意力・判断力は確実に低下することが証明されています。

しかし、飲酒運転ドライバーは、「これくらいなら酔ってない」「事故さえ起こさなければ大丈夫」等の理由を付けて運転しているドライバーがほとんどだと思います。

少し、休んだから、寝たから大丈夫とは言っても清酒二～三合の飲酒で完全に体内からアルコールがなくなるのに七時間以上かかると言われております。

飲んだら乗らないを合言葉に県民一人一人が更に自覚して、山梨県内から飲酒運転を追放していききたいものです。

夜の事故防止へ反射材普及

県安協理事・評議員会で17年度の実績報告

死者46年ぶり70人下回る

財団法人山梨県交通安全協会は六月十二日、甲府市内のホテルで理事・評議員会を開催し、はじめに堀内光雄会長から「地区交通安全協会と並存する形で、山梨県交通安全協会の支部が発足し両者が一体となって、同一目的である交通安全活動を行う完全支部化と、自動車学校及び事務局庁舎の新築移転を実現した。これからは公益法人としての交通安全活動『人の命の尊さを基本理念として、安全で安心、かつ、快適な車社会の実現』に貢献する交通安全協会として活発な事業を推進していく」との挨拶があり議事に入り、議事では、平成十七年度事業報告や収支決算報告と役員改選が行われ、いずれも承認されました。

17年度活動報告

山梨県交通安全協会は、平成十七年度の事業計画に基づき①高齢者の交通事故防止活動、特に反射材の普及の徹底②シートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底③運転中における携帯電話を使用しない運動の徹底④飲酒運転追放活動の推進⑤若者による無謀運転及び暴走族の追放活動の推進⑥歩行者・自転車利用者の交通安全マナーアップ活動の推進⑦子どもに対する交通安全教育及び交通事故防止活動の徹底⑧の七点を重点として各種事業を推進しました。その結果平成十七年度における県下の交通事故の発生状況は、前年に比べ発生件数でマイナスイナス二百十件、死者数でマイナスイナス十六人、傷者数でマイナスイナス三百七十人といずれも減少しており、特に死者数については四十六年ぶりに七十人を下回る大きな成果を挙げた。具体的な事業の内容は、次の通りです。

【各種交通安全運動の実施】

①春・秋の全国交通安全運動を県民に周知するため、ポスター、チラシ、新聞、ラジオ、及び

全日交優良二輪車安全運転推進委員一名
 ④関東管区交通安全協会連合会・関東管区警察局長連名表彰
 優良交通安全協会二協会・交通安全功労団体二団体・交通安全優良事業所一事業所・交通功労者十三名・優良運転者十五名
 ⑤山梨県交通安全協会会長及び山梨県警察本部長連名表彰
 優良交通安全協会四協会・交通安全功労者八名・交通安全功労団体二団体・交通安全功労役員八十三名・優良運転者二百二十三名・死亡事故抑止交通安全協会四協会
 ⑥山梨県交通安全協会会長表彰
 死亡事故抑止交通安全協会十二協会・女性部七女性部・支部八支部・交通安全協会優良職員四名
 ⑦山梨県二輪車安全運転推進委員長表彰
 優秀指導員二名
 【自転車の交通安全対策】
 ①自転車の交通安全対策
 自転車安全推進委員会の開催・自転車安全教育特別指導員講習会への派遣・自転車安全指導員に対する講習会の開催・幼児及び小学生を対象とした自転車安全教室の開催三百八十四回三万八千五百五十二名・自転車のマナーアップのためのポスター、ラジオのスポット放送の実施・子ども交通安全教育車による広報啓発活動・ビデオ、映画フィルムの貸し出し百五十七回・第三十六回交通安全子ども自転車山梨大会の開催と全県大会への派遣「高根東小学校五位入賞」・第一回高齢者自転車大会の開催参加者五十二名・日本管理技術協会山梨支所と協力

しTSMマークの普及と街頭点検活動を実施しました。

②二輪車の交通安全対策
 二輪車交通安全推進委員会の開催・高校教師を対象とした二輪車安全運転指導員審査の実施・二輪車安全指導員講習会の開催八十一名・高校生を対象とした原付講習会の開催二十三回三千九百五十三名・二輪車の街頭指導の実施・第三十五回二輪車安全運転大会の開催と全県大会への派遣・原付免許取得時講習の実施八十回四千六百五十九名にそれぞれ実施しました。

【交通安全啓発活動】

①各種交通安全活動に対する支援・地区安協、交通安全母の会、高速交通安全協会などの団体に対する助成並びに交通ボランティア及びセーフティドライブチャレンジャー作戦に対する支援

②第四十七回中学生交通安全弁論大会を開催・弁論要旨集の発行

③「やまなし交通安全情報」紙年四回八百八万部発行

④交通安全教育資機材、新たに整備したシートベルトパーフェクトトレーナー二台及びビデオ七本をホームページに掲載。横断歩行トレーナー、シートベルトコンプレッサー、ダミー人形、ミニ信号機、ぬいぐるみ、交通安全教育用ビデオ・映画フィルム等を貸し出し。

⑤交通安全用の小冊子、ポスター、チラシなどの配布

【その他の事業】

安全運転管理者講習 千九百三十二名、行政処分者講習四千七百九十四名、運転免許更新講習十萬九千六百九十九名、各警察署での巡回講習二百二十名、YBSドライバークラス・身体障害者安全運転コンクールへの協力、各地区交通安全協会会員に対するメリット支援として、交通事故の弁護士無料相談、交通事故見舞金制度、免許証ケースの無料配布及び無料で道交法の改正要点や免許証の更新時期を通知するEメール会員システム支援をしている。

新役員の顔ぶれ

▽会長 堀内光雄▽副会長 山下道男、八木吉治、宮川隆武、山下讓二、伊藤重忠▽参事 和田博夫、保坂輝行、三枝力▽専務理事 飯野昇二▽常務理事 大森勲▽理事 功刀長夫、清水武則、深沢豊、依田倉蔵、中澤孝、内藤進、高部愛明、渡邊日出男、小澤建雄、小澤照彦、中村昌訓

▽監事 古屋俊仁、一ノ瀬久則、齋藤秀男
 △顧問 窪田正英、山田晃
 △評議員 鈴木光三、岡部秀雄、羽中田進、北條繁友、村松敏雄、篠原節、飯野正夫、山本義武、中山尚武、笠井郁男、山本接三、石部元章、雨宮良吉、古屋寿満、水地寛、松橋勝美、上野敦美、中野豪、渡邊照雄、斎藤忠雄、井上一男、水越旭祝、笠井矩善、野本大八、村田利男、河口森子、岡恵美子、宮下子

長年の献身的活動たたえる

関東交通安全協会連合会 (今井敬会長) は五月十九日、埼玉県さいたま市・ロイヤルパインズホテルで交通安全功労者等の表彰式を開催しました。

▽交通安全功労者と夫人 大堀寛三郎・豊子(甲府) 齋藤林功・み乃里(南甲府) 齋藤秀男・洋子(南アルプス) 清水壽昌・久仁子(韮崎) 望月鉄雄・はつ美(諏訪) 望月勝・多恵子(南部) 北野正晴・富子(笛吹) 奥山嘉雄・博子(日下部) 内藤進・和子(塩山) 山口清太郎・はる子(都留) 渡辺照男・和子(富士吉田) 久島章司・啓子(上野原) 小澤建雄・幸子(バス協会)

▽優良交通安全協会 長坂交通安全協会、市川交通安全協会

交通安全功労者等表彰式



県内の功労者13人表彰

受賞した人たちは多年にわたり交通安全のために献身的に尽力し多大な功績のあった個人と団体です。関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長連名による表彰とともに、交通安全功労者の夫人には関東交通安全協会連合会長から多年にわたる協力をたたえ感謝状が贈られました。次

安全運転管理者講習

山梨県交通安全協会では県公安委員会から委託を受け、道路交通法に定める安全運転防止の徹底を期するため「安全運転管理者講習」を、一定以上の車を保有する事業所では、法律で安全運転管理者を置くことが義務付けられています。乗りに会場にいられますようお願いいたします。

<安全運転管理者の講習日程>

講習地域	実施月日	会場
富士吉田	6月13日(火)	富士吉田市民会館
	6月27日(火)	同上
	6月28日(水)	同上
	7月5日(水)	同上
	7月7日(金)	同上
都留	6月14日(水)	山梨県立男女共同参画推進センター
	6月20日(火)	同上
野原	6月22日(木)	上野原市文化ホール
日下部	7月12日(水)	山梨市民会館
	7月13日(木)	同上
韮崎	7月13日(木)	東京エレクトロン市文化ホール
	7月25日(火)	同上
	7月26日(水)	同上
塩山	7月19日(水)	甲州市市民文化会館
	7月20日(木)	同上
長坂	9月5日(火)	北社市役所長坂総合支所
	9月6日(水)	同上
大月	9月8日(金)	大月市民会館
南部	9月12日(火)	南部町中央公民館
	9月13日(水)	身延町総合文化会館
諏訪	10月3日(火)	増穂町市民会館
	10月4日(水)	同上
笛吹	10月11日(水)	勤労青年センター
	10月12日(木)	同上
南アルプス	10月17日(火)	ふれあい情報館
	10月18日(水)	同上
	10月25日(水)	甲府市総合市民会館
	10月26日(木)	同上
南甲府	11月6日(月)	同上
	11月29日(水)	同上
	11月30日(木)	同上
	11月30日(木)	同上
市川	11月2日(木)	市川三郷町総合福祉センター
	11月2日(木)	同上
甲府	11月14日(火)	敷島総合文化会館
	11月15日(水)	同上
	11月21日(火)	同上
	11月22日(水)	同上
	11月22日(水)	同上

(注)すでに終了した講習日程についても掲載してあります。予定日に受講されなかった管理者の方は、都合の良い日を選ばれるなどして、全員の皆さんの受講をお願いします。

関東安協連合会の表彰を受けた県内の関係者 埼玉・浦和ロイヤルパインズホテル

高根東小A 団体10連覇

県総合交通センターで子供自転車県大会 個人部門は小尾直史君



ジグザグ走行に挑む参加者
＝南アルプス・県総合交通センター

第三十七回交通安全子供自転車大会が山梨県交通安全協会と山梨県警察本部の共催で六月十七日、新装の山梨県総合交通センターで開かれ、個人部門では北杜市立高根東小Aチーム(連続十回、通算二十八回目)、個人部門では高根東小Aの小尾直史君(学科、実技とも満点)が優勝しました。

大会は自転車安全教育競技を通じ児童に交通についての興味と関心を高めるとともに、さらさらその習慣化を図ることにより交通事故防止の目的を達成しようと毎年開かれています。県内の各地区代表十二校十六チーム八十人の選手が参加して、学科六百点、実技五百点、計千点からの減点方式で競いました。

【団体部門】
 ▽優勝(県警本部長・県安協会長賞、知事賞、関東管区局長・関東安協連合会会長賞) 高根東小Aチーム
 ▽準優勝(県警本部長・県安協会長賞、県議会議長賞) 高根東小Bチーム
 ▽準優勝(県警本部長・県安協会長賞、県教育長賞) 池田市立山城小
 ▽準優勝(県警本部長・県安協会長賞) 犬飼俊太郎(富士吉田市立明見小A)
 ▽10位(県安協賞品) 宮下連(富士吉田市立明見小B)
 ▽満点賞(学科) 田中雄大、小池恵暉、小尾直史、清水優太、清水俊宏(高根東小A) 荒沢優侑、本

品) 田中市立明見小B、富士吉田市立明見小A、甲府市立北新小A、山梨市立加納若小、南アルプス市立八田小
 【個人部門】
 ▽優勝(県警本部長・県安協会長賞) 小尾直史(高根東小A)
 ▽準優勝(県警本部長・県安協会長賞) 本田こころ(高根東小B)
 ▽3位(県安協トロフィー) 池田市立明見小A
 ▽4位(県安協トロフィー) 田中雄大(高根東小A)
 ▽5位(県安協トロフィー) 荒沢優侑(高根東小B)
 ▽6位(県安協賞品) 坂本聖人(高根東小B)
 ▽7位(県安協賞品) 清水優太(高根東小A)
 ▽8位(県安協賞品) 三井みのり(高根東小B)
 ▽9位(県安協賞品) 犬飼俊太郎(富士吉田市立明見小A)
 ▽10位(県安協賞品) 宮下連(富士吉田市立明見小B)
 ▽満点賞(学科) 田中雄大、小池恵暉、小尾直史、清水優太、清水俊宏(高根東小A) 荒沢優侑、本



二輪車の運転技術を競った県大会
＝山梨県総合交通センター

二輪車の安全運転の技術と交通徳の向上を図ることを目的に開かれました。参加者は日ごろ、二輪車を利用してライダースで、今大会には四十人が参加し、一般B(400CCを超えるもの)、一般A(400CC以下)、高校生等(50

鈴木大介さんが一般B優勝 二輪車大会

第三十六回二輪車安全運転大会山梨県大会が、山梨県交通安全協会、山梨県二輪車安全推進委員会の共催で六月二十四日、南アルプス市の山梨県総合交通センターにおいて、競技を通じて、全運転推進委員会の共催で六月二十四日、南アルプス市の山梨県総合交通センターにおいて、競技を通じて、

東小B)、増原純哉(飯沢町立飯沢小)、遠藤智哉(身延町立身延小)、犬飼俊太郎(富士吉田市立明見小A)、土屋絵美(富士吉田市立明見小B)
 ▽優秀賞(実技) 小尾直史(高根東小A)
 ▽優秀賞(学科) 坂本聖人(高根東小B)

CC)、女性(50CC)の4クラスで法規走行と技能走行で運転技術、正確性などを競い合いました。

各クラスの優勝者は八月五日の両日、三重県鈴鹿サーキットで行われる全国大会へ山梨県代表として出場します。(〇印の方)

入賞者は次のとおりです。
 ◇一般B ▽優勝(知事賞) 鈴木大介 ▽準優勝(県安協会長賞) 助松行夫 ▽準優勝(県安協会長賞) 小俣優里奈

新入生対象に原付運転講習

山梨園芸高

山梨園芸高校(宮川芳春校長)は全国でも唯一の「二年生に対する原付バイクの技能講習」を今年も県交通安全協会と県二輪車安全推進委員会の協力を得て実施しました。この講習は同校生徒が交通事故で亡くなったことをきっかけに、免許を取得する前に正しいルールと実技を身につけてもらおうと導入し、平成十三年度から実施しています。



原付バイクの技能講習を受ける山梨園芸高生

高齢者を交通事故から守ろう

県警交通部参事官 鈴木 正明



「一日平均十八・八二人、一時間十六分に一人」。

この数字は、昨年全国各地で発生した交通事故死者数(二十四時間以内の死者数)の換算値であります。昨年全国では六千八百七十一人の尊い命が失われました。このうち六十五歳以上の高齢者が犠牲となつた数は、二千九百二十四人であり、全体の約四三%を占めております。

安全のために

一方、本県において昨年発生した交通事故死者数は、六十四人であり、この中には高齢者が二十五人も含まれており、全体の約四〇%を占めております。日本人の平均寿命(平成十六年)は、男性が七十八・六

高くなり、県民四・七人に一人が高齢者となっております。すでに高齢社会に突入しており、全国平均より三年早く高齢化が進んでいる。と言われております。今後、高齢者の交通事故はさらに増加することが予想されます。

本県の高齢者の交通死亡事故(平成十七年)の特徴をみると、歩行中に跳ねられる事故が十二人(四八%)と最も多く、また、高齢者が自動車などを運転し、死亡事故を起こしたのも九件(一四%)あります。

警察では、自治体、関係機関・団体等との連携を図り、高齢者の交通事故防止を最重点に取り組んでおります。また、交通事故のなく、いつまでもお元気で年輪を重ねていかれますよう心から祈っております。

せひ、一年に一回は、人間ドックならぬ「交通ドック」として利用されるようお願いいたします。高齢者の交通事故防止は、福祉政策の一環でもあります。高齢者に優しい交通環境を作ることが何よりも大切であります。

高齢社会が進む中、高齢者の皆様が交通事故に遭われることなく、いつまでもお元気で年輪を重ねていかれますよう心から祈っております。

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店

株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内二丁目16-1
 富士急ビル6階
 TEL055-228-0691

老人クラブなどに勉強会

危険個所や対策を紹介

甲府安協
石田支部

甲府交通安全協会石田支部(深沢祐治支部長)が、各単位自治会別の老人クラブのお年寄りを対象に、高齢者交通事故防止の勉強会をスタートさせました。

同支部は石田地区の単位自治会別の老人クラブの協賛を得て勉強会を始めました。甲府警察署員がオブザーバーとして出席しました。第一回は高北自治会館で「福寿会」のお年寄りに参加してもらい開催。石田地区全体で過去一年間で発生した高齢者の事故現場の危険個所六カ所を取り上げ、事故発生の原因や防止策などをビデオムービーなどを取り入れながら説明しました。

また、石田地区内の「悠遊館」では高齢者交通安全講習会も開きました。地区内のお年寄り約三十人が出席。正しい自転車走行や自転車走行可能な歩道の正しい通行方法などについて学んでもらいました。

さらに、震災や水害など大規模災害では交通事故だけでなく防犯、防災上でもすべての災害が複層的に起こりうることを勘案して、勉強会では神戸の震災の様子を伝えたDVD映像も紹介、事故防止への心掛けから防災への備えまで幅広く勉強しました。またお年寄りに対してはひったくりなどの防犯対策も学んでもらいました。

また池田支部(勝俣英雄支部長)では高齢者交通安全教室を開講。下飯田老人クラブの二十八人が事故防止策を学びました。

また北新小学校では北新交通安全団(団員二十三人)の結団式が行われました。この後、同協会北新支部(大野良平支部長)とともに、子どもたちは市内の自動車学校で飛び出し人形を使った衝突事故やシートベルトコンビンサーによる衝突など、さまざまな模擬実験を見学、事故防止への誓いを新たにしました。

また池田支部(勝俣英雄支部長)では高齢者交通安全教室を開講。下飯田老人クラブの二十八人が事故防止策を学びました。

また北新小学校では北新交通安全団(団員二十三人)の結団式が行われました。この後、同協会北新支部(大野良平支部長)とともに、子どもたちは市内の自動車学校で飛び出し人形を使った衝突事故やシートベルトコンビンサーによる衝突など、さまざまな模擬実験を見学、事故防止への誓いを新たにしました。



地震など大規模災害には交通事故、犯罪などさまざまな災禍がふり注ぐ。甲府・石田地区では事故防止を軸にさまざまな「安全」を学んでいる

また、石田地区内の「悠遊館」では高齢者交通安全講習会も開きました。地区内のお年寄り約三十人が出席。正しい自転車走行や自転車走行可能な歩道の正しい通行方法などについて学んでもらいました。

お年寄りや子どもの事故防止へ誓い新た

○：甲府

甲府交通安全協会(保坂輝行会長)は春の全国交通安全運動に合わせて高齢者や子どもたちの事故防止をめざしてさまざまな取り組みや支援事業を行いました。



北新小学校では北新交通安全団(団員二十三人)の結団式が行われました。この後、同協会北新支部(大野良平支部長)とともに、子どもたちは市内の自動車学校で飛び出し人形を使った衝突事故やシートベルトコンビンサーによる衝突など、さまざまな模擬実験を見学、事故防止への誓いを新たにしました。



街頭指導所で交通安全の呼びかけにはマナーアップレディーの女性らも参加した。北杜市須玉町では高齢者交通安全教室を開講。北杜市須玉町では高齢者交通安全教室を開講。北杜市須玉町では高齢者交通安全教室を開講。

マナーアップレディーら街頭指導で事故防止訴え

○：葦崎

葦崎交通安全協会(清水武則会長)は春の全国交通安全運動の一環として、葦崎町中田町のゆーぶるにらさき前の国道141号に街頭指導所を開設、交通ボランティアとして委嘱されたマナーアップレ

ディーの女性五人も参加して事故防止を呼びかけました。街頭指導ではマナーアップレディーの一人、原幸代さんが一日警察署長となり、安協役員や警察署員、交通関係者らとともに、パンフレットや手作りマスコット、啓発品などを通行車両のドライバーに配布。安全運転や飲酒運転撲滅を訴えました。



加者を代表して河手基さんが交通安全宣言をしました。マナーアップレディーの女性らも参加した。北杜市須玉町では高齢者交通安全教室を開講。北杜市須玉町では高齢者交通安全教室を開講。

「安全運転してね」子どもたちも訴え

○：鵜沢

鵜沢交通安全協会(深沢豊会長)は春の全国交通安全運動では、鵜沢交通安全協会鵜沢支部(樋口幸夫支部長)や鵜沢町立中部保育所の保育士や園児ら十五人が参加。通行車両のドライバーに交通安全を呼びかけるドライバーに交通安全を呼びかける鵜沢交通安全協会のメンバー

運動では、街頭指導も実施。買い物客にチラシを配布、夜間



交通安全を祈願して行われた「虎頭の舞」。北杜市・白州保育所

歩きの安全のため「かかと用反射材」を実際に貼ってもらうなど、事故防止の啓発活動を行いました。三吉支部(幡野

美好支部長)は同警察署員らとともに、谷村第二小学校で新入児童約三十人を対象に交通安全教室を開きました。

地元「虎頭の舞」披露 子どもたちに安全訴え ○：長坂

長坂交通安全協会(伊藤重忠会長)は春の全国交通安全運動の一環として長坂警察署管内の保育園児や高齢者である祖父母を対象に交通安全教室を開きました。白州保育所では地元の「虎頭の舞保存会」が舞台で交通安全の願いをこめた舞いを披露、県警「さちかぜ号」の交通安全教室も開かれました。同保育園児や祖父母ら約百人

まめ細かく「安全」を訴え



交通安全を祈願して行われた「虎頭の舞」。北杜市・白州保育所



交通安全を祈願して行われた「虎頭の舞」。北杜市・白州保育所

事故防止へ祈りこめる

春の全国交通安全運動 地区安協の活動

県内各地の交通安全協会は交通事故防止に向けて独自のアイデアでさまざまな啓発品を考案、交通安全運動などで配布しています。子どもたち向けには学用品セットや手作りのワンピーススタオルなど、一般には映画にちなんだハンカチなど知恵を絞ったユニークな安全グッズが続々と登場しています。

アイデア満載 安全グッズ

幸せ：安心・安全呼ぶ
「黄色いハンカチ」配布

○：富士吉田

富士吉田交通安全協会（渡邊日出男会長）は春の全国交通安全運動期間中、富士吉田



交通安全啓発品

交通安全運動期間中、富士吉田警察署管内でさまざまなイベントを展開しました。とくに啓発品は、独自のアイデアを取り入れ、交通事故防止をさまざまな形で分かりやすく伝えました。

初日にはスピードスケートの岡崎朋美さんを一日警察署長に迎え、関係団体役員や老人クラブのお年寄りら地域住民約三百人が出席式を行いました。期間中には各支部が中心となって街頭指導所を開設。交通事故防止を訴えるチラシや風船、啓発品をドラ

「こんにやく」はノンカロリーの「脂肪」と「交通死亡事故減少」の「死亡」とを掛け合わせて約六百個購入、チラシとともに配りました。子どもや家族連れ向けには富士吉田駅前ウサギの着ぐるみも登場、ドーナツ約三百五十箱を配布。管内の小学校二十校では新入学児童千五百人に反射材が付いたカサを贈呈、保育園など三十園約千五百人に文具セットや反射キーホルダーなどを贈りました。

管内の二駅、公共施設などで安協役員らが手分けして黄色い羽根の配布を行いました。交通安全標語看板を設置、新入学児童への交通安全教室や小学生への交通安全運動教室なども開講しました。新入学児童らには交通安全啓発品の贈呈もありました。街頭指導所も開設しました。

島田小学校で行われた交通安全運動教室では、高学年には自転車の正しい乗り方教室、低学年には横断歩道などの安全な渡り方について講習しました。警察犬による模範演技も行われ、子どもたちは熱心に交通ルールやマナーを学びました。



警察犬とのふれあいを通して交通ルールやマナーを学んだ子どもたち

「死亡事故多発」警報のぼり旗備え注意喚起

南甲府交通安全協会（山下譲二会長）は五月九日に発令された「交通死亡事故多発警報」を受け、南甲府警察署管内の街頭に、のぼり旗二百二十本を掲げました。

同協会の十五支部の役員らが手分けして管内の主要道路沿線などに設置しました。

交通安全啓発品などを配布

交通安全啓発品を手にする甲府南安協女性部有志ら

安協の会員特典が好評

県交通安全協会は運転免許の取得や更新手続きの際に預かりしている「交通安全協会費」を財源に、事故防止に向けた活動費に充当するとともに、会員へのさまざまなサービスにも活用しています。

交通事故トラブル 弁護士が無料相談

弁護士無料相談は、交通事故による民事トラブルが発生した場合、協会と契約した弁護士が当事者の相談に直接応じます。こうした制度は全国的にも珍しく、

積極的な活用を呼びかけています。会員特典にはほかに、「交通事故見舞金制度」もあります。制度は会員が交通事故で死亡、または後遺症が生じた場合、十万円を限度として見舞金を贈呈しています。おなじみの運転免許証ケース

は免許証の亡失、損傷を防止するため滑り止めがついたものです。

南甲府交通安全協会（山下譲二会長）は五月九日に発令された「交通死亡事故多発警報」を受け、南甲府警察署管内の街頭に、のぼり旗二百二十本を掲げました。

同協会の十五支部の役員らが手分けして管内の主要道路沿線などに設置しました。

交通安全啓発品などを配布

交通安全啓発品を手にする甲府南安協女性部有志ら



のぼり旗を設置する南甲府安協役員ら



交通安全啓発品を手にする甲府南安協女性部有志ら

自転車の安全運転めざし 高校生にマナー呼びかけ

〇〇市川

市川交通安全協会(八木吉治会長)は春の全国交通安全運動の一環として市川警察署



高校生に自転車の安全運転を呼びかける市川協役員ら

管内で交通安全啓発活動を展開しました。市川高校正門前では「自転車マナーアップキャンペーン」を実施しました。安協役員や地域交通安全推進員、市川警察署員ら九人が市川高校正門から通学する高校生に、対して、歩行者や車両に配慮した通行など自転車の正しい乗り方を啓発しました。また通学する高校生たちの自転車の整備状況もチェック、交通マナーの向上も呼びかけました。安全運動初日には出発式も行い、山梨ハロー会メンバーが市川三郷町内で交通安全パレードも展開。街頭指導所も三郡東極東詰め交差点に開設され、市川安協役員、各支部、青年部、母の会各支部、市川警察署員ら三十五人が参加し、交通事故防止啓発品などを通行する車両のドライバーらに配布しました。70歳以上の運転者がドライバー教室を受講



シルバードライブ教室を受講するお通者紅葉倶楽部のメンバー



交通安全運動の啓発品を配布する笛吹交通安全協会役員ら

「交通事故ゼロ」誓い 駅利用者へ啓発品配布

〇〇笛吹

交通安全協会(三枝力会長)は春の全国交通安全運動の一環としてJR石和温泉駅前

駅前に街頭指導所を開設、交通安全を呼びかけました。笛吹安協役員や笛吹警察署員、笛吹市職員、交通関係団体役員ら約五十人が参加。交通安全啓発品を配布。事故防止を訴えました。お年寄りら60人参加
〇〇塩山
塩山交通安全協会(内藤進会長)は塩山警察署前で、GWに合わせて街頭指導所を開設しました。甲州市や塩山警察署、塩山安協の幹部や役員、職員、署員らのほか、老人福祉施設を利用するお年寄りらも参加。約六十人で通行する車のドライバーらに交通安全を訴える啓発品などを配布しました。



交通安全を訴え啓発品を配る塩山安協役員ら

春の交通安全運動 地区安協の活動

安協から

長坂交通安全協会は、県の北部に位置する北杜市のうち須玉町・明野町を除く六町を所轄区域としており、南に富士山、北に八ヶ岳と南アルプスの山々に囲まれた眺望日本一と言われる観光地であり、人と自然が躍動する環境創造都市を目指しております。管内には国道20号線と141号線の主要幹線道路が南北に縦断しており、長野県境をかかえる関係から交通安全の要として「北の守りは我らの使命」をモットーに、警察署をはじめ関係団体の協力をいただき会員一同頑張っております。

来年四月には、県警察の警察署の再編計画の一環として、当長坂警察署は北杜市の須玉町・明野町の二町を新たに管轄区域として、署名も「北杜警察署」に変更する予定であると聞いております。これが実現しますと県下最大の総面積の一三・五%を占める北杜市全域を管轄することとなり、多種多様な交通問題も生ずるものと懸念されています。

女性ドライバーが関係する事故九十二件(四六・七%)と一番多く、次いで県外者の事故、若年者、高齢者による事故と続いているようですが、これらのデータを基にこれからの安全運動の参考として一件でも交通事故を減少すべく努力

我が長坂交通安全協会では、主な事業として①交通安全子供自転車大会の開催(高根東小学校は県大会で二十七回目の優勝、昨年は全国大会に出場し、五位入賞)②交通安全フェスティバルの開催(交通弱者、高齢者、園児、小学生参加)③交通安全高齢者弁論大会の開催④公民館活動や集会に参加(出前式交通安全講話)⑤長野県(南佐久警察署)山梨県(長坂警察署)両県の特徴を生かした県境合同街頭指導所⑥管内高齢者に対する交通安全講習とゲートホール大会の開催の女性部による交通

安全マスコット作り、環境整備活動の実施⑧危険箇所点検、対策⑨支部一事業の推進これら地域の特性を生かした交通安全活動を推進しております。最近の日本国内の治安情勢を見ますと、私共の想像を超えた様々な事件・事故が多発しております。犯罪・交通事故のない明るい地域づくりは、ルールを守る、思いやり、人に迷惑をかけない等、昔ながらの地域の連帯感の醸成と子供たちからの道徳倫理教育の推進にあると思います。改革が流行の現在社会ですが、変えてよいものを変えてはならないものがあると思えます。今後日本の伝統を大切に地域から感謝される活動を続けてまいります。世直しのために力を合わせて頑張りましょう。

「北の守りは我らの使命」

長坂交通安全協会 会長 伊藤 重忠



高い無事故率

早く優しい地元のための教習

山梨県公安委員会指定

岳麓自動車教習所

富士吉田市新西原5-5-1
☎0555-22-1689

普一、大型一・二、大特
けん引、自二
(合宿施設有)

管内で安全啓発品配布
真木に飛び出し注意

〇〇大月

大月交通安全協会(山下道男会長)は春の全国交通安全運動の一環として大月警察署管内で交通安全キャンペーンを実施しました。

管内の六カ所の駅前や七保の三叉路など計七カ所で黄色い羽根を配布。駅ではチラシやカム、標語入りポケットティッシュなどを通勤・通学の駅利用者へ手渡しました。大月警察署前には街頭指導所も開設。警察署員、大月交通安全協会役員ら約三十人が通行車両のドライバーに交通安全啓発品を配布しました。

期間中には、同安協真木支部は、大月市真木で、以前から要望があった、子どもの飛び出しに対する注意を促す電柱幕を設置しました。後日、住民から迅速な対応に感謝するお礼の電話もありました。

啓発品を配布する大月安協役員ら

〓大月警察署管内

子どもの命守るのは親の義務です

全国平均、使用率が上昇 チャイルドシート徹底を

四月二十二、二十三日の両日、甲府市と山梨市で日本自動車連盟(JAF)山梨支部と警察の合同によるチャイルドシートの使用状況の調査を実施しましたが、本年は、使用率が四九・〇%と昨年を大きく上回り、全国平均は四九・四%(昨年は四〇・三%)でほぼ全国平均になりました。

昨年、県内のチャイルドシートの使用率は、なんと、一六・〇%で、前年を二三・〇ポイント下回り、全国平均を三三・一ポイント下回り最下位の不名誉な記録を作ってしまった。平成十二年に、

一件目は昨年六月に富士吉田警察署管内の国道で軽四乗用車を運転していた女性が、助手席の荷物が床に落下したのに気がとられ、脇見をして、自車を進路左側のガードロープの支柱に衝突させ、後部座席に同乗の母親が抱きかかえていた生後二カ月の幼児が死亡したものです。二件目は今年三月に南アルプス警察署管内の市道交差点で軽四乗用車を運転していた男性(父親)が信号のない交差点で、出会い頭に軽四乗用車と衝突し、車両が横転し、助手席に座っていた母親が抱きかかえていた生後七カ月の幼児が車外に投げだされ、川に転落し、死亡したものです。このようにチャイルドシートを正しく使用していなかったことから、大切なわが子を死に至らしめるという最悪の

結果とらえてしまいました。わが子を抱きかかえていることは、事故の際、最も危険な行為なのです。子どもがチャイルドシートを嫌がるからと

事故多発地点を調査 効果的な安全策確立

県は、五月十六日から六月一日までの間、交通事故多発地点(区間)の現地調査及び検討会を県内九カ所で行いました。

交通事故多発地点調査箇所

調査箇所	月日	主な交通事故形態
県道甲府・韮崎線(けき/湯村ジョブセンター付近)	5/16(火)	追突、車線変更の際に衝突、出会い頭
県道甲府・市川三郷線(小井川駐在所東交差点)	5/18(木)	追突、出会い頭
甲斐市道(オギ/双葉店南東角交差点)	5/23(火)	出会い頭
県道休息・山梨線(新町十字路交差点)	5/23(火)	出会い頭
県道塩山・勝沼線(向獄寺付近)	5/23(火)	出会い頭
国道139号(西桂町役場付近)	5/23(火)	追突
国道138号・139号(富士浅間神社付近)	6/1(木)	追突、右折時に直進車と衝突
国道139号(船津登山道入口交差点付近)	6/1(木)	右折時に直進車と衝突(信号無視)
国道20号(鶴川入口交差点付近)	5/30(火)	追突、出会い頭

この調査は、警察本部が、交通事故統計に基づき抽出・選定した交通事故の多発地点

甘やかしていませんか。一緒に車に乗っていないながら、幼い子どもだけが亡くなるという親として最も悲惨な結果を招かないためにも、チャイルド

シートの正しい使用を徹底しましょう。自分の子どもの命を守るのは、あなた、親の責任です。大切な子どもの命を失ってからは遅いのです。

「交通安全」を題材に
ファミリー作文募集
9月10日まで内閣府など

【父親・母親、一般の部】
【高年齢者(65歳以上)の部】
・400字詰め原稿用紙5枚以内
・作文には内容にふさわしい題名をつけ、①応募部門の郵便番号・住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤職業⑥電話番号⑦応募の動機(例「やまなし交通安全情報を見て」など)を明記

この調査は、警察本部が、交通事故統計に基づき抽出・選定した交通事故の多発地点

内閣府と全日本交通安全協会などは、我が家の交通安全をテーマに交通安全ファミリー作文を募集しています。家庭や学校、職場、地域などで交通安全について考え話し合った内容や、交通安全につながる日常の会話や独自の工夫などの実践例、体験談などを作文にしてお寄せください。応募作文は未発表、自作のものに限り、応募要領は次の通りです。

▽送り先 〒101-0002 東京都千代田区外神田2-2-17 共同ビル(社)日本交通福祉協会 交通安全作文募集係へ。小学生の部と中学生の部は郵送のみ受け付け。父親・母親、一般の部と高年齢者の部は電子メールも可。Microsoft Wordを使用し、1枚あたり縦書きで20字×20行で作成しjiv@kouzushukai.jp(日本交通福祉協会)へ送信する。応募原稿は返却しません。入賞作品の著作権は主催者に帰属します。

交通安全協会、日本交通安全教育普及協会など
▽募集期間 平成18年7月1日(土)から9月10日(日)まで(当日消印有効)
▽応募方法
【小学生の部】中学生の部
・400字詰め原稿用紙3枚以内(なるべく直筆で)
・作文には内容にふさわしい題名をつけ、①応募部門②郵便番号・住所③氏名(ふりがな)④学校名⑤学年⑥学校所在地・郵便番号・電話番号を明記

安全で安心な交通社会を構築していくという意識を持つことが大切です。県民の皆様一人ひとりが、目標の達成に向けて、飲酒運転は絶対しない、シートベルトやチャイルドシートを正しく着用する、安全確認を励行するなど、自分自身で今すぐ出来ることを確実に実行することも、身近な地域や団体において、各種の交通安全活動に積極的に参加されるようお願いいたします。

▽問い合わせ 内閣府政策統括官 交通安全作文募集係(03・3581・1182)

山梨県交通安全対策会議(会長・山本栄彦知事)は今年四月、今後五カ年の県内の陸上交通に関する交通安全対策の総合的かつ計画的な推進を図るため、第八次山梨県交通安全計画を作成しました。

この計画は、交通安全対策基本法に基づき作成するもので、計画期間は、平成十八年度から平成二十二年までとなっています。人命尊重の理念に基づき、究極的には「交通事故のない社会の実現」を目指して、道路交通、鉄道交通、路切

シグナル

道野の分野では、
○年間交通事故死者数を六〇人未満とする
○交通事故件数を六千六百件以下とする

事故ゼロめざし総合計画 目標値定め積極的に推進

また目標を実現するため、少子高齢社会への対応、歩行者の安全確保などの視点に立ち、人優先の安全・安心な歩行空間の整備、総

交通安全のな
い社会を実現
し、県民の安全
・安心を確保し
ていくためには

交通安全センターを活用した高齢者等に対する参加・体験・実践型の交通安全教育の推進、自転車等の安全利用の推進などの施策に重点的に取り組むこととしていきます。



最新機器と豊かな指導実績 山梨自動車学校

山梨自動車学校(野中隆幸校長)は入校者を募集しています。県交通総合センターの隣接地に新築移転したばかりの同校は、最新のコンピューター教育機器だけでなく、快適に運転免許が取得できるように、さまざまな環境が整えられています。全車種の運転免許が取得できる県内でただ1つの学校でもあり、豊かな経験をもつインストラクターによる指導にも高い信頼が寄せられています。免許取得後にも安心できるサポート態勢が整えられています。合宿と同じ期間で取得できる短期コースも用意され、「合宿に行くより得」と好評です。土曜日、日曜日、祝日も休まずに開校。入校生には携帯電話やインターネットからの予約システムも導入されています。

住所 〒400-0202 南アルプス市下高砂847
休校日 年中無休
電話 055-285-0752
フリーダイヤル 0120-915752

『TSマーク制度』TSマークの貼った自転車なら、安心の保険が付いています。

【点検・整備】
自転車が道路交通法の基準に適合するよう安全整備士が点検整備を行います。

【安全利用】
自転車の交通ルールや正しい乗り方など安全利用のアドバイスを受けられます。

【賠償責任・傷害保険】
賠償責任保険と傷害保険の2つがセットになった1年間付帯保険が付いています。

●賠償責任補償●	最高限度額	2,000万円
●傷害補償●	死亡・重度後遺障害(一律)	100万円
	傷害入院15日以上(一律)	10万円

お近くの自転車安全整備店の看板のあるお店で、一定の点検・整備を受けて加入して下さい。



日本交通管理技術協会山梨県支所

万一に備え自転車にTSマーク

自転車は手軽で便利な乗り物として、子どもから高齢者まで幅広く利用されています。しかし、自転車による交通事故も多発しています。最近では、車と衝突する事故だけでなく、歩行者と関係した事故もあり、被害者側から多額の賠償金を請求されるケースもあります。

こうした自転車の事故に賠償責任の一端を担うのが「TSマーク」で、自転車整備士のいる自転車店で安全点検を実施後、自転車に貼付しています。自転車に安全に乗るため、また、万一の事故に備え「TSマーク」を貼り付けましょう。

なお、賠償責任の有効期間はTSマークに記載されている点検日から一年間です。詳しくはお近くの自転車安全整備店で、尋ねてください。

自動車安全運転センター

交通事故の証明 交通事故の当事者が適正な補償を受けられるようにするため、当事者の求めに応じて、交通事故の発生日時・当事者の住所・氏名などを記載した証明書を発行しています。この証明書は、警察の保有するデータにより、当センターが証明するものです。

- ◆交通事故証明書は、次のように使われています。
 - 各種自動車保険(共済)の保険金(共済金)請求書の書類として。
 - 市区町村共済などの見舞金の請求書類として。
 - 育英資金・奨学金を借りる時の添付書類として。
 - 勤務先への提出書類として。
 - その他、訴訟・示談・税控除の参考書類として。
- ◆交通事故証明書は、交通事故に遭われた方の財産や権利を守るための大変重要な書類です。
 - 交通事故に遭われた時は必ず警察に届出をして、後日、交通事故証明書も交付を受けるようにしてください。
 - 申し込みのできる方は、交通事故の当事者(加害者・被害者)及び当事者の委任を受けた方です。



- ◆証明書の申し込み手続き方法
 - 証明書の必要な方は、最寄りの郵便局から郵便振替の方法により申し込むか、総合交通センター3階の安全運転センター事務所窓口でお申し込みください。
 - 申込み用紙(郵便振替用紙)は、センター事務所のほか、警察署・交番・駐在所・損害保険会社・農業共同組合・全労済などに備え付けてあります。
 - 証明書は、後日郵便でお届けするセンター事務所窓口で直接お渡ししています。手数料は、1通につき600円です。

自動車安全運転センター山梨県事務所
南アルプス市下高砂825 電話 (055)285-2345 http://www.jsdc.or.jp/
FAX (055)285-2951

(社)山梨県バス協会

日頃から生活の足として、また旅行にとご利用いただいているバス。でも、「どこ行きのバスに乗ったら良いのかわからない」というお声があるのも事実でした。皆様に、もっとバスに親しんで、便利にご利用いただけるよう、社団法人山梨県バス協会では「山梨バスマップ」を作成、発行いたしました(平成18年3月)。甲府市周辺部及び富士五湖地区のバス路線図を掲載。利便性を考慮、行先方面別に路線を色分けしたり、バスの運行本数によって線の太さを変える等工夫を凝らし、見やすくなっております。また山梨の地図とともに、協会加盟の観光バス会社の連絡先をバスのカラー写真入りで掲載しています。地図には、会社のおおまかな所在地が記してありますので、お近くのバス会社を選んでいただくことも出来ます。その他、清里・河口湖・山中湖といった観光地の周遊バス路線図は、休日のお出かけ等にお役立ていただけることと思います。既にバスターミナルやバス営業所、山梨県観光物産連盟を通して配布いたしました。県内はもちろん県外のお客様からもご好評を得ています。

お問い合わせ：(社)山梨県バス協会 055-262-1201

県トラック協会



走る理由がある。

私達は走り続けなければなりません。現在トラックによる運送は国内のほぼ9割を占め、豊かな暮らしを物流の面から支えています。トラックが止まってしまうことは、人の体の血液が止まってしまうこと。街から品物や人々の笑顔が消えてしまうことの無いように、私達は今日も走り続けているのです。そして同時に環境問題についてもアイドリングストップ運動の早期からの実践など、素晴らしい自然を次代に引き継いでゆかために、業界をあげて一早く取り組んでいます。現在トラック業界は、相次ぐ規制による負担増や燃料価格の急騰により厳しい経営環境にあります。しかし私達は、運賃の適正化を呼びかけるなどの具体的なアクションをおこし、これを必死で乗り越えようとしています。かけがえない自然と笑い声のあふれる暮らしを守るため、私達のチャレンジはこれからも続きます。

運ぼう未来へ 豊かな自然と環境を



安全・安心・まちづくり 110番協カタクシー

山梨県タクシー協会

タクシーは早朝から深夜まで、広い地域で動いています。そのほぼ全てに業務用無線機が備えられており「早く・広く」情報を伝達することが出来ます。その機能を地域の安全や、事件の早期解決に役立てたいと考えています。

こんな時は、タクシーに声をかけて下さい。

- 不審者がいる。後をつけられている
- 110番通報・119番通報をして欲しい
- 「助けて！」

車内に保護し、状況に応じて通報します。

